【教員の教育研究業績等】

氏　　名	北澤　明子	所　属	幼児教育学科	職　位	准教授
研究分野	教育学関連分野	学　位	修士（生活科学）		
資格・免許	保育士資格，社会福祉士				
担当教科	環境（指導法）、基礎演習Ⅱ、子ども家庭支援論、キャリアデザインⅡ、保育指導方法Ⅱ、 教育実習指導Ⅰ、教育実習Ⅰ				

教育上の能力及び職務上の実績に関する事項	
事　　項	年月日
1　教育方法の実践例	
・目白大学人間学部子ども学科実習支援室において施設実習に関する業務全般を担当。施設への配属依頼・学生配属・学生への実習事前事後指導と保育所実習・教育実習を含む実習の巡回指導を担当。	平成26年4月～平成27年3月
・保育所・幼稚園の自然とのかかわりや季節の行事などの在り方についてフィールドワーク・調査を行う。	平成29年10月～11月
・児童館でのカプラブロックのワークショップを実践。ワークショップを実践するなかで、カプラブロックの導入による子どもの姿の観察を行う。	令和元年9月
・保育所への自然とのかかわり（野草を採って食べる活動）についての調査を行う。	令和2年3月～4月
2　作成した教科書、教材	
・『保育・教育・施設実習―子供を理解し実践できる保育者をめざして―』（大学図書出版）編著　福田真奈・五十嵐敦子　共著　Ⅱ部2章6～9　3章4　施設実習部分を担当。	平成30年4月
・『NIE　家庭支援論演習』（大学教育出版）　編著　松井圭三他　共著 第6章「地域社会の変容と家庭支援」を担当。	平成30年4月
・『改定版　保育内容の基礎と演習』（わかば社）　編者　柴崎正行　共著 第4章　保育実践と保育内容の§2「保育環境と保育内容」を担当。	平成30年12月
・『改定版　保育原理の基礎と演習』（わかば社）編者　柴崎正行　共著 第5章「保育の方法」を担当。	平成30年12月
・『演習　保育内容　環境―基礎的事項の理解と指導法―』 編著　岡健　共著 第5章　「季節による生活や自然の変化に気付くこと」を担当。	令和元年7月
・『社会福祉』 編著　志濃原亜美 第8章　コラム担当。	令和2年4月
・『子育て支援員研修テキストブック―厚生労働省シラバス完全準拠―』（一藝社）編者　浅井拓久也 共著　第2章「§1子ども・子育て家庭の現状・§5対人援助の価値と倫理」担当	令和2年6月 令和2年10月
・『子どもとともに未来をデザインする保育者論・教育者論』編著田中卓也他（わかば社） 共著　第8章「環境をいかす保育者・教育者」担当	令和3年3月
・『実践例から学びを深める保育内容・領域環境指導法』（わかば社）編者小櫃智子　共著 part2第2章「自然とのかかわりの実践について学ぼう」第3章1.「ESDと保育」担当	令和3年5月
・『保育者になるための初年次教育・キャリア教育』（萌文書林）編者　浅井拓久也 第3章「保育者のとして成長するとはどのようなことでしょうか」担当	
・『基礎から学べる保育内容（環境）ワークブック』 コラム6「砂場と子どもの深いい関係！！」、コラム9－2「虫探し探検をしてみよう」	令和3年10月
3　教育上の能力に関する大学等の評価	
・平成29年度の前期授業アンケート「家庭支援論」にて、総合的な満足度として4.38（学科平均4.11）の評価を得た。	平成29年
・令和元年度前期授業アンケート「家庭支援論」にて、総合的な満足度として4.29、4.62、4.40（全学平均4.13）の評価を得た。	令和元年
・令和元年度後期授業アンケート「基礎演習Ⅱ」にて、総合的な満足度とし4.50、4.54（全学平均4.12）の評価を得た。	令和元年
・令和4年度後期授業アンケート「キャリアデザインⅡ」において、総合的な満足度として、4．71、4．75、4．68（全学平均4．30）の評価を得た。	令和4年
4　実務の経験を有する者についての特記事項	
・学校法人庄和森田学園　緑の森保育園・庄和すずらん幼稚園で保育所・幼稚園での実習生の指導を行う。	平成18年4月～平成23年3月
・多摩市立子育て総合センター大妻女子大学子育て支援室にて看護学生の実習指導を行う。	平成23年4月～平成25年3月

5 その他	
・岐阜県から株式会社明日香へ委託のあった「認可外保育施設安全対策強化事業」にて、巡回指導員として岐阜県の認可外保育施設に巡回を行い安全面や衛星面、保育の方法などの巡回指導を行う。	平成28年4月～平成29年3月
・保育者養成校の教員、保育者とともに、特定非営利法人Support for Childrenを設立し、理事に就任。	令和元年12月～令和2年2月
・公益社団法人国土緑化推進機構と森と自然の育ちと学び自治体ネットワークが協働で行う「森と自然 の育ちと学びラボ2020」の研究調査員として参画し、自然保育に関する子どもの発達への影響・効果についての評価・検証手法の整理を行うとともに、自治体ネットワークに加盟している自治体との協働で自然保育が及ぼす影響や効果の検証方法を検討。	令和2年6月～現在に至る 令和2年8月～令和3年3月
・「森と自然の育ちと学び2020」(計3回)のパネリストとして以下のテーマで講演を行う。 第1回目ラボ(10月)「森と自然を活用した保育・幼児教育が子どもの発達に与える影響・効果・検証方法」 第2回目ラボ(12月)「森のようちえんの活動事例の分析から考える自然保育の教育的効果」 第3回目ラボ(2月)「自然保育の効果を高めていくための保育の仕組みづくり」	令和2年10月～3月
・シンポジウムの企画・運営・パネリストとして登壇 公益財団法人さわやか福祉財団から「地域の助け合いを維持・発展する活動」に対する助成金を受け、子育て支援シンポジウムを企画、運営する。 テーマ:「保育所等訪問支援事業の可能性と課題を考える」	令和2年12月
・森と自然の育ちと学び 連続セミナー2021での講演・パネリスト(オンライン) テーマ:「自然保育”の子どもの発達への効果・ 影響と 効果を高める仕組みづくり」	令和3年3月
・科学研究費補助金(基盤研究(B)(一般)「自然保育認定・認証制度の影響と効果に関する実証的 研究」の受託・研究チームへの参加	令和3年4月～現在に至る 令和3年12月
・オンライン国際シンポジウム「世界の自然保育の潮流」の企画・運営 ・任意団体かかあでんかアップデート委員会設立 シンポジウム「国際女性デーかかあでんかをアップデートしよう」企画・運営・ファシリテーター	令和5年4月～現在に至る
・令和5年度より日本自然保育学会の理事に就任し実践研究委員会の委員として活動。	令和4年6月～現在に至る
・国土緑化推進機構令和4年度「緑と水の森林ファンド」助成事業の受託により、「埼玉県における園庭や裏山等を活用した自然保育に関する実証的研究」を実施中。	令和5年1月

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
(著書)			
1. 保育内容の基礎と演習	共著	平成27年3月	わかば社
2. 新版・保育用語辞典	共著	平成28年2月	一藝社
3. 保育原理の基礎と演習	共著	平成28年8月	わかば社
4. 家庭支援論の基本と課題	共著	平成29年1月	学文社
5. 保育・教育・施設実習－子供を理解し実践できる保育者をめざして－	共著	平成30年4月	大学図書出版
6. NIE 家庭支援論演習	共著	平成30年4月	大学教育出版
7. 森と自然を活用した保育・幼児教育ガイドブック	共著	平成30年10月	風鳴舎
8. 改定版 保育内容の基礎と演習	共著	平成30年12月	わかば社
9. 改定版 保育原理の基礎と演習	共著	平成30年12月	わかば社
10. 演習 保育内容 環境－基礎的事項の理解と指導法－	共著 共著	令和元年7月	建帛社
11. 社会福祉	共著	令和2年4月	みらい
12.子育て支援員研修テキストブック―厚生労働省シラバス完全準拠―	共著	令和2年6月	一藝社
13. 子どもとともに未来をデザインする保育者論・教育者論	共著 共著	令和2年10月	わかば社
14. 実践例から学びを深める保育内容・領域環境指導法	共著	令和3年3月	萌文書林
15. 保育者になるための初年次教育・キャリア教育		令和3年5月	あいり出版
16. 基礎からまなべる保育内容(環境)ワークブック		令和3年10月	
(学術論文)			

1. 自然とかかわるこどもを捉える視点－樹木から広がる幼児のかかわりの分析を通して－	単著	平成26年3月	大妻女子大学人間文化研究科人間生活科学専攻修士論文
2. 自然とかかわるこどもを捉える視点－樹木から広がる幼児のかかわりの分析を通して①－	単著	平成28年2月	秋草学園短期大学紀要第32号
3. 樹木から広がる幼児のかかわりの分析②－探るかかわりに焦点を当てて－	単著	平成29年2月	秋草学園短期大学紀要第33号
4. 保育所と放課後児童クラブの連携のあり方の研究（1）-支援員へのインタビュー調査を中心として-	共著	令和2年3月	秋草学園短期大学紀要第37号
5.「保育実習における巡回訪問指導のあり方の検討－学生と教員の意識の差異に焦点を当てて」	共著	令和3年3月	
（その他）			
（学会発表等）			
1. 保育の場における樹木の活用に関する一考察	単	平成28年5月	日本保育学会第69回大会
2. 里山保育の研究（1）－日本における「里」という文化の特性－	共	平成28年5月	日本保育学会第69回大会
3. 樹木と幼児のかかわりの分析－道具としての使用方法に焦点を当てて－	単	平成29年5月	日本保育学会第70回大会
4. 保育所における保護者支援の現状と課題	共	平成29年5月	日本保育学会第70回大会
5. 環境教育実習を通して	共	平成29年11月	日本自然保育学会第2回大会
6. 先行研究に見る「自然保育」の教育的・社会的効果－先行研究WGの調査を踏まえて－（ラウンドテーブル）	共 単	平成29年11月 平成30年10月	日本自然保育学会第2回大会 日本自然保育学会第3回大会
7. 自然物を使ったワークの意義－保育内容「環境」における葉っぱのワークの実践より－	共	平成31年3月	日本保育者養成教育学会第3回研究大会
8. 保育所における在園児童の保護者に対する支援2	単	令和元年5月	日本保育学会第72回大会
9. 樹木と幼児のかかわりの分析－身体的かかわりに焦点を当てて－	共	令和元年5月	日本保育学会第72回大会
10. 保育所における在園児童の保護者に対する支援3	共	令和3年5月	日本保育学会第73回
11.GoogleMeetを活用したオンライン実習の試み―養成校学生の意見にみる優位性と課題	共	平成31年3月	日本自然保育学会第7回大会
12. 自然保育認定・認証制度による保育者への影響（1）―自治体が主催する自然保育の研修に着目して―	共	令和4年12月	
（研究報告）			
1. 保育所における保護者支援の現状と課題①－保護者へのアンケートより－			秋草学園短期大学紀要第35号
2.「災害時における保育・教育実習内容の一考察―	共	令和2年3月	